

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 6 月 11 日 (2020.6.11)

【公開番号】特開 2018-184350 (P2018-184350A)

【公開日】平成 30 年 11 月 22 日 (2018.11.22)

【年通号数】公開・登録公報 2018-045

【出願番号】特願 2017-85373 (P2017-85373)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/49 (2006.01)

A 6 1 Q 5/04 (2006.01)

A 6 1 K 8/46 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/49

A 6 1 Q 5/04

A 6 1 K 8/46

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 23 日 (2020.4.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下の工程 (i) ~ (iii) を含む毛髪処理方法。

工程 (i) : 以下の成分(A)を含有する第一の組成物を毛髪に適用する工程

(A) 分子量が 350 以下であり、かつフェノール性水酸基を 1 以上 4 以下有する芳香族化合物又はその塩

工程 (ii) : 工程 (i) の後、毛髪を 15 以上 100 以下で 15 秒以上 60 分以下放置する工程

工程 (iii) : 工程 (ii) の後、以下の成分(B)を含有する第二の組成物を毛髪に適用する工程

(B) 分子量が 300 以下の芳香族スルホン酸又はその塩

【請求項 2】

工程 (iii) の後、毛髪をすすぎ流す工程を含み、工程 (iii) と毛髪をすすぎ流す工程の間に、更に工程 (iv) を含む、請求項 1 に記載の毛髪処理方法。

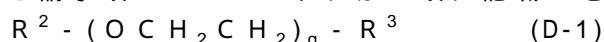
工程 (iv) : 第二の組成物を塗布した毛髪を 15 以上 100 以下で 1 分以上 60 分以下放置する工程

【請求項 3】

成分(A)の芳香族化合物の無機性値が 100 以上 500 以下かつ有機性値が 120 以上 300 以下である請求項 1 又は 2 に記載の毛髪処理方法。

【請求項 4】

第一の組成物中における(D)以下の一般式(D-1)で表される有機溶剤の含有量が 10 質量 % 以下である請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の毛髪処理方法。



〔式中、 $R^2$  は水素原子又は炭素数 1 以上 5 以下のアルキル基を示し、 $R^3$  は水素原子又は水酸基を示し、 $q$  は 0 以上 5 以下の整数を示す。ただし、 $q$  が 0 である場合には  $R^2$  及び  $R^3$  は同時に水素原子とはならず、 $q$  が 0 でない場合において、 $R^2$  が水素原子である場合

$R^3$ は水素原子、 $R^2$ がアルキル基である場合 $R^3$ は水酸基である。]

【請求項 5】

第一の組成物中に、更に成分(C)として増粘剤を含有する請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の毛髪処理方法。

【請求項 6】

第一の組成物の25 におけるpHが、2 以上10以下である請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の毛髪処理方法。

【請求項 7】

第一の組成物の25 におけるpHが、5 以上 8 以下である請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の毛髪処理方法。

【請求項 8】

第二の組成物中に、更に成分(C)として増粘剤を含有する請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の毛髪処理方法。

【請求項 9】

第二の組成物中に、更に成分(E)として芳香族アルコールを含有する請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の毛髪処理方法。

【請求項 10】

工程(iv)において毛髪を放置する際の温度が15 以上30 未満である請求項 2 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の毛髪処理方法。

【請求項 11】

工程(iv)において毛髪を放置する際の温度が30 以上100 以下であり、かつ放置時間が1分以上30分以下である請求項 2 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の毛髪処理方法。

【請求項 12】

還元剤を含む毛髪処理剤及びpH12~14の毛髪処理剤のいずれを髪に塗布する工程も含まない 1 ~ 11のいずれか 1 項に記載の毛髪処理方法。